

第97回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

平成28年11月17日（木）

沖縄総合事務局

第97回沖縄地方交通審議会船員部会

日 時 平成28年11月17日（木）13時30分
場 所 沖縄総合事務局 5F 海技試験室

出席者：

公益委員 宮里委員、儀部委員、春田委員
労働者委員 姫路委員、大崎委員、屋比久委員
使用者委員 大城委員、伊禮委員

沖縄総合事務局 野原船舶船員課長、宮里海事振興調整官
宮城課長補佐、普天間専門官

議事次第

○開会

○議事

1. 第96回船員部会の議事録承認について
2. 管内の雇用状況等について
3. 意見交換

○閉会

(配付資料)

1. 第96回船員部会の議事録（案）
2. 船員職業紹介実績等一覧表（平成28年10月分）

宮里部会長

皆様こんにちは。定刻でございますので、第97回船員部会を始めさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願いします。

事務局（普天間専門官）

本日は、公益委員3名、労働者委員3名、使用者委員2名が出席されており、船員部会運営規則第9条の規定による定足数を満たし、有効に成立していることをご報告いたします。

それでは配付資料の確認をさせていただきます。

～ 配付資料確認 ～

以上です。

宮里部会長

ありがとうございました。

それでは、初めに第96回船員部会の議事録の承認についてお諮ります。お手元に配付されています議事録を御確認ください。

原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

各委員

（「異議なし」の声）

宮里部会長

異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議題2の「管内の雇用状況等」につきまして、事務局にご説明をお願いします。質問は最後に受け付けたいと思います。

事務局（宮城補佐）

平成28年10月分の管内雇用状況等の概要について報告いたします。

●求人状況について

新規求人数は2件でした。前月に比べ10件減少、前年同月に比べ17件減少となっております。

月間有効求人数は24件でした。前月に比べ2件減少、また、前年同月に比べ3件減少となっております。

月間有効求人数24件の内訳としましては、商船等23件、漁船1件となっております。月末未済求人数は3件でした。

●求職状況について

新規求職数は10名でした。前月に比べ4名増加、また、前年同月に比べ2名減少となっております。

新規求職数10名の内訳としましては、すべて商船等となってお

ります。

月間有効求職数は18名でした。前月に比べ2名増加、また、前年同月に比べ15名減少となっております。

月間有効求職数18名の内訳としましては、すべて商船等となっております。月末未済求職数は11名でした。

● 成立状況について

10月は4名の採用がきました。

● 求人倍率について

10月の月間有効求人倍率は、1.33倍でした。前月に比べ0.30ポイント減少、前年同月に比べ0.51ポイント増加となっております。

● 新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

10月の新規求職者10名のうち、離職者9名の退職理由としましては、船舶所有者都合が3名、自己都合が6名となっております。離職以外の方1名の求職理由としましては、就業中に転職を希望するものとなっております。

新規求職者が所属していた会社所在地につきましては、管内が6名、管外が4名となっております。

● 失業等給付支給内訳について

基本手当受給者実人員は2名、支給延べ件数は2件で、基本手当支給金額は215,112円、その他高年齢求職者給付金の支給が1件あり、高年齢求職者給付金額は286,650円でした。総支給額は501,762円でした。

以上で管内雇用等状況の概要の説明を終わります。

宮里部会長

ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何か質問等ございますか。大崎委員どうぞ。

大崎委員（労働）

4ページの、月末未済求人求職の欄で、近海で事務部の方で20代から30代で求職されてる方が1名おられます、これはマッチングしてますか、それともまだしてないのでしょうか。

事務局（宮城補佐）

短期だけお勤めしたいという特別な事情がありまして、そこで、マッチングができるおりません。

大崎委員（労働）

求職の人がですか。

事務局（宮城補佐）

求職の人がです。

大崎委員（労働）

それでその短期っていうのは、どれぐらいの期間なんですか。

事務局（宮城補佐）

1月末ぐらいからは、別の会社に内定があるということで、その間だけ、お願いできぬいかという特別の事情がありまして、本当にすぐマッチングできそうなのですが、そういう期間が限定されておりマッチングできてないようです。

大崎委員（労働）

ちなみに、船舶調理師の資格は持っていますか。

事務局（宮城補佐）

船舶調理師は持っていないですね。栄養士の資格は持っているようです。

大崎委員（労働）

栄養士ですか。それではすぐには乗れないですよね。

事務局（宮城補佐）

司厨長でなく司厨員であれば乗れるのですが、余裕のある会社で、さらに短期でということになると、難しいようです。

大崎委員（労働）

3、4ヶ月の話であれば、なかなかないかもしれませんね。

事務局（宮城補佐）

そうですね。年齢は若いのですが。

大崎委員（労働）

もったいないね。ちなみに2月以降は船に乗られるのですか。

事務局（宮城補佐）

内定がとれているようです。

大崎委員（労働）

船には乗るということですね。

事務局（宮城補佐）

そうですね。沖縄の船で官公庁船です。

大崎委員（労働）

官公庁船ですか。それともう一点。今月、求人を見たら、格段に下がってる状況があるようです。しかも機関部の方だけしか出てな

いという状況は先月、先々月と比べて。何か特別な理由はあるのですか。

事務局（宮城補佐）

特別の理由はないのですが、1社、採用ができないということで、船を止めました。それで取り下げをしているというのがあります。管内の2社ですね。2件、2名は成立がありましたので、そのような関係で極端に下がってしまったかと思います。

航海士、機関士を、多めに求職している会社が、船一隻を止めてしまう事態にまで陥ってしまったということが、影響しているかとは思います。

大崎委員（労働）

それは仕事がなくてですか。

事務局（宮城補佐）

船員がいなくてです。職員が採用できなくて、船を回せなくなつたっということで、1隻止めたようです。

大崎委員（労働）

それ、沖縄の船ですか。

事務局（宮城補佐）

沖縄の船ですね。今、係船中です。

大崎委員（労働）

いわゆる、労務倒産的に、結局仕事はあるのだけども、人がいないという状況があって、瀬戸内海の方では、ケミカルとかガスの船は、止まっている船もあります。やはり船員がいないですね。だから海技免状がないと、動かせられないというところがある。

で、もう一点ちょっとといいですか。1.33の月間有効求人倍率の1.33の中身というのは、船の場合には非正規はないけども、期間雇用がありますよね。その割合っていうのはわかりますか。

事務局（宮城補佐）

すべて常用ですね。

大崎委員（労働）

ということは、いわゆる陸上で言う正社員の位置づけですね。

事務局（宮城補佐）

そうです。今回は期間雇用ないです。

大崎委員（労働）

1. 33の月間有効求人倍率は相当高いですよ。結局はやっぱり、何が何でも船員を雇っておかないとという位置づけで、頑張るのだろうと思います。なので、船員不足っていうのが、顕著に出てるもの、結局4ページのところの月末の未済求職の内訳表見るともう、若い者はいないですね。全部が40歳以上になっている状況もあるので、今後やっぱり船員が不足してるとということは、この表を見てもわかる気がします。また来月は、きっと出る可能性もあります。年末でいろいろな仕事、職業を探して事由がありますので。今後船員不足っていうのは、顕著に出てくるのを防ぎたいとは思っています。中央の方も、もう、月間有効求人倍率は2倍ぐらいになります。ここはまた、来た人は逃さず、船員にしてください。よろしくお願ひします。以上です。

宮里部会長

ありがとうございました。ほかに何かございますでしょうか。
ないようであれば、議事3の意見交換に移りたいと思います。

大崎委員（労働）

先ほどの船員不足の話の中で、沖縄の船員の現状というものを、少し教えてもらいたいと思いまして、事務局に質問させてもらいたいのですが、沖縄の船員のピーク時とか、今の船員の数、海運会社数とか、船舶数っていうのがわかれれば教えてもらいたいのと、あと先ほど求職状況で話があった官庁船の船員数、船舶数の状況、何年か前からの状況を教えていただければ、今後の参考にしたいので、よろしくお願ひします。

それと、あと二点ぐらいですが、先週11月8日から11日までの4日間、東京で全日本海員組合の定期全国大会を開催して、第72年度の活動方針等を決定しております。国内部門においては、若年船員の確保・育成や、フェリー・旅客船の航路存続、カボタージュ規制への緩和に断固反対する、船員養成機関の定員拡大、それとこれが一番の問題ですが、民間船員を予備自衛官にということが一時あり、まだやっています。その動きに断固反対するという決議を決定しております。その活動方針に沿って、第72年度は活動していくことになります。

合わせて報告です。先ほど「船員しんぶん」を配布しましたので、これをご覧いただければと思います。

10月24日に、沖縄県と沖縄県議会に対して、海員組合沖縄支部と沖縄旅客船協会、沖縄地方内航海運組合が、県立の沖縄水産高校の海洋技術科と専攻科の定員拡大に関する陳情を行っておりますので、お目通ししていただきたいと思います。

以上です。

宮里部会長

はい、ありがとうございました。確かにそうですね。やはり船員の確保というのは、非常に近々の課題ですね。将来にわたるという

よりも、まさに今の問題で、将来的にもっと不足するのかと。ということは、県内では沖縄水産高校の活用が、本当にものすごく重要です

大崎委員（労働）

結構、沖縄の地理的事情があり、本当は第十一管区海上保安本部の組織のうち、那覇、石垣、宮古も保安部になったという中で、石垣の保安部は日本一の保安部になっています。現在350人ぐらいいると思います。それで船も増えて、全国の中でそこでやはり、私たち民間の海技免状を持っている船員が引き抜きのような形で、とっていかれるという中で、石垣はもう、四苦八苦してます。だからそのような中で、今官庁船との争いもありますし、ある意味、旅客船の離島航路なんかももう、船員いなくて困っていますので、そこは沖縄水産高校に頑張ってもらいたいという話があり、今、実習船も作ってますので、そのところで、教育委員会と県と議会に申し入れをしたところです。

宮里部会長

はい。では総合事務局の方でも頑張っていただきながら、働きかけを行うことが重要かと思います。

事務局（野原課長）

ただいまの御質問についてですが、資料として残っている沖縄県の船員のピークは、復帰時の1972年において、5,338人となっており、船舶数が349隻ということです。

事業者数は統計がなく把握できませんが、ほかはその時と比べまして、最近の数値は、平成27年10月1日現在で船員数が2,084人。船舶数が288隻。事業者の数が133事業者となっております。

この数字は平成26年から船員数は増加はしていますが、内訳はほとんど今、お話にもありましたように、海上保安庁の船員増加と思われます。

あと、官庁船の数は、最近の資料ですと、平成22年10月には430人いまして、それから微増はしていますが、平成26年と平成27年に、まあ先ほどもお話に出たように、官庁船の船員がふえまして、平成26年で606人。平成27年で777名ということになっております。

宮里部会長

ありがとうございました。

大崎委員（労働）

これは非常に見るからに官庁船が増えているというところで、そうすると民間が厳しい状況に追い込まれているのではないかという気がします。それで、先ほど言われた、船員数の2,084の中には、漁船の外国人船員が入ってくるのではないかと思います。

事務局（野原課長）

漁船については、26年10月の資料では、460名となっております。

大崎委員（労働）

これから460名引くとすると外国人は何人ですか。

事務局（野原課長）

外国人についての内訳は今把握してないのですが、大体6割ぐらいが漁船の外国人かと思います。

大崎委員（労働）

外国人は漁船しかいないので。漁船の船員の6割ぐらいが外国人かと思いますが、460名の6割強ですかね。マルシップでは日本人は3名しか乗っていないかと思いますが、今後も船員の確保についてしっかりと考えていかなければならぬと思います。

宮里部会長

ありがとうございました。ほかに何かご意見ありますでしょうか。ないようであれば、事務局から連絡がありますので、お願ひします。

事務局（普天間専門官）

12月の船員部会は、12月15日（木）に5階海技試験室で15時30分からの開催予定といたします。いつもと時間が違いますのでお気を付け下さい。変更がある場合は連絡いたします。

なお、出席できない場合は、事前に事務局までご連絡ください。

また、今回の議事録案は後日、いつもどおりメールで照会させて頂きますのでよろしくお願ひいたします。

宮里部会長

それでは、本日の部会はこれで終了します。ご苦労様でした。